

中小企業景況調査(2014年10月) 要約版

[概況] 中小企業の売上げDIは、低下したもののプラス
売上げ見通しDIは、4カ月連続でプラス

1 売上げ

2014年10月の売上げDIは、前月(3.4)から低下し、1.0となった。

今後3カ月(10月~12月)の売上げ見通しDIは、7.8と、前月(7.8)から横ばいとなった。プラスとなるのは4カ月連続である。

2 利益

利益額DIは、前月(0.3)から上昇し、4.1となった。プラスとなるのは3カ月連続である。

3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、前月(2.0)から低下し、▲0.5となった。仕入価格DIは、前月(16.8)から上昇し、23.9となった。

従業員判断DIは、前月(2.9)から低下し、1.9となった。

生産設備判断DIは、前月(▲6.8)から低下し、▲8.0となった。低下は3カ月連続である。

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

<調査の要領>

調査時点	2014年10月中旬
調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏454社、中京圏142社、近畿圏304社)
有効回答企業数	582社
回答率	64.7%

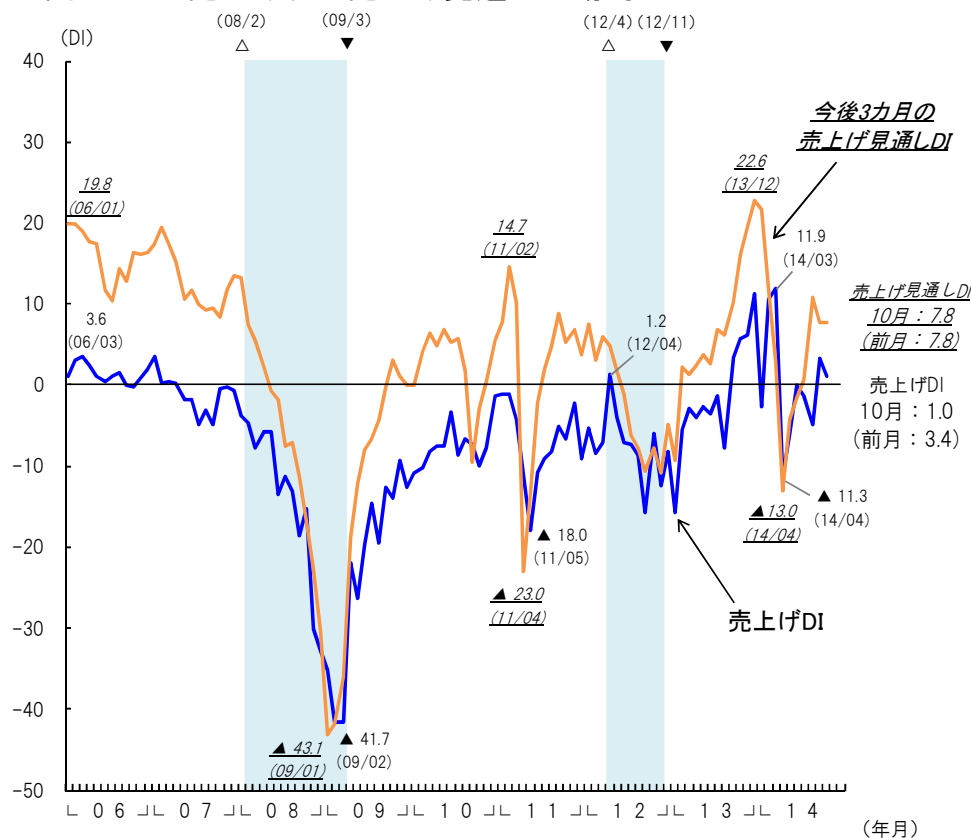
<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704(担当:江連、神谷)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

本資料は日本銀行内金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

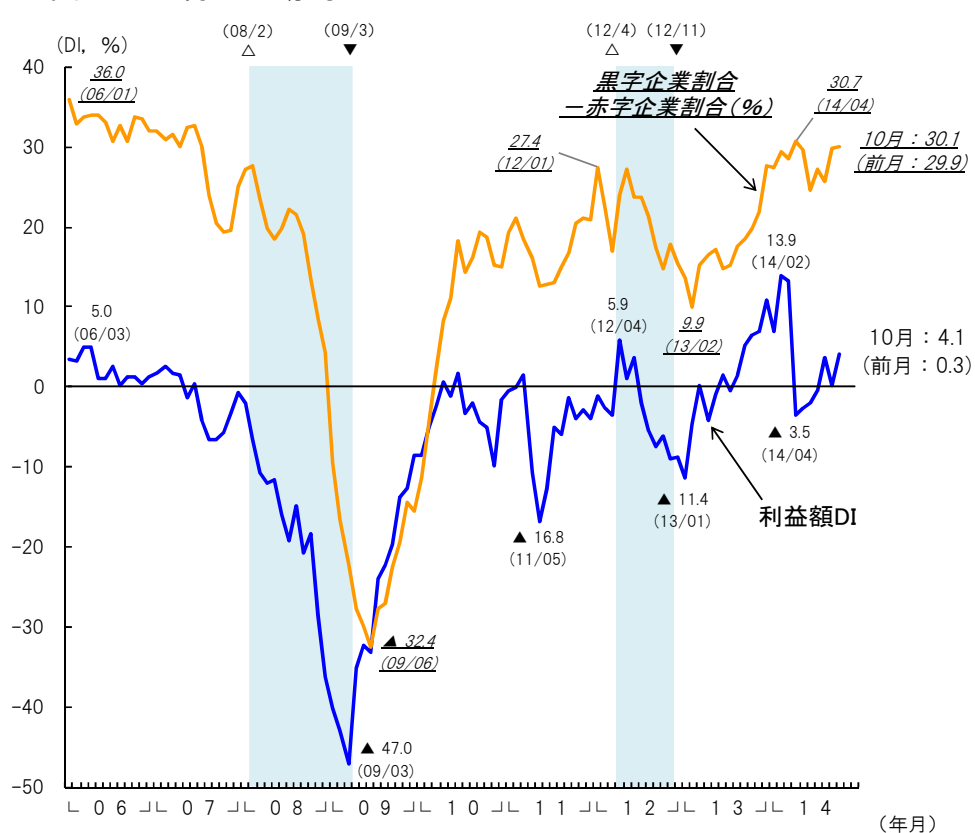
- 売上げDI(「増加」-「減少」)は、1.0と、前月から2.4ポイント低下した。
- 売上げ見通しDI(「増加」-「減少」)は、7.8と、前月から横ばいとなった。
- 利益額DI(「増加」-「減少」)は、4.1と、前月から3.8ポイント上昇した。
- 黒字-赤字企業割合は、30.1と、前月から0.2ポイント上昇した。

図-1 売上げ及び売上げ見通しの動向



- (注) 1 売上げDIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

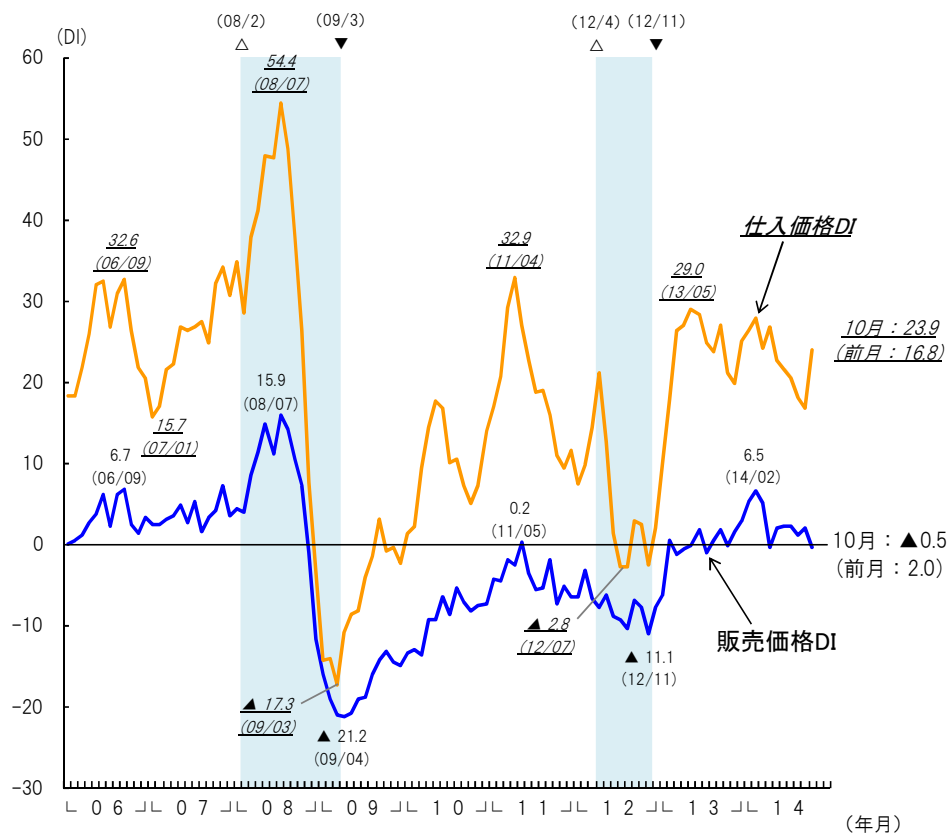
図-2 利益の動向



- (注) 1 利益額DIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 黒字および赤字の判断については最近3カ月の実績による(季節調整値)。

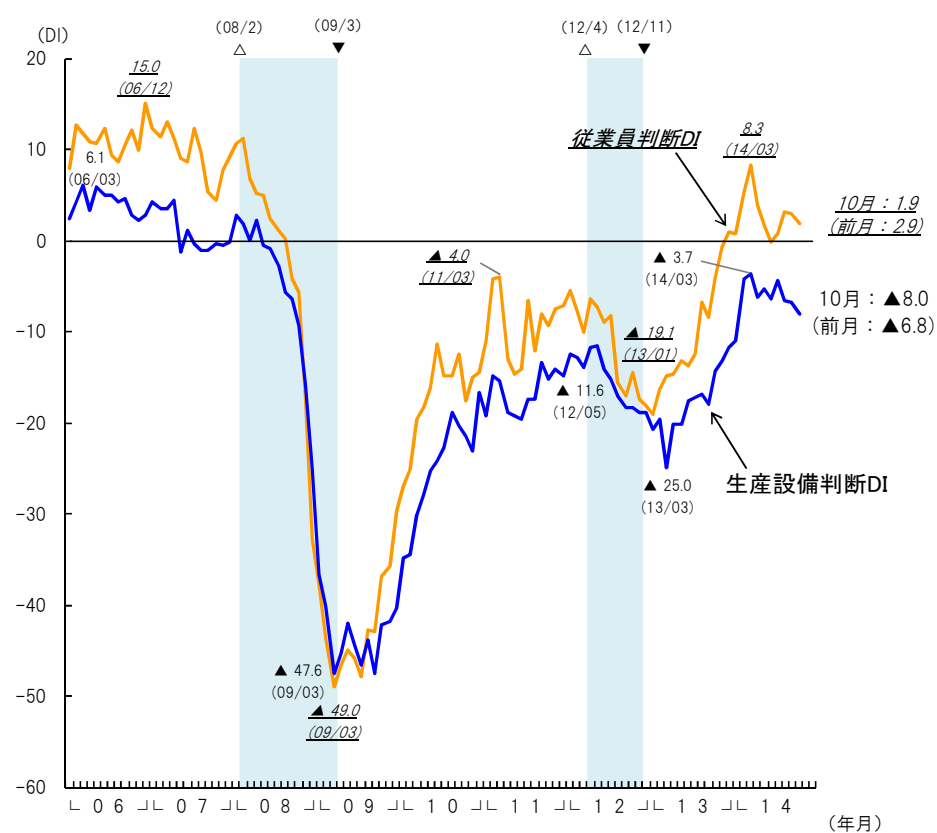
- 販売価格DI(「上昇」-「低下」)は、▲0.5と、前月から2.5ポイント低下した。
- 仕入価格DI(「上昇」-「低下」)は、23.9と、前月から7.1ポイント上昇した。
- 従業員判断DI(「不足」-「過剰」)は、1.9と、前月から1.0ポイント低下した。
- 生産設備判断DI(「不足」-「過剰」)は、▲8.0と、前月から1.2ポイント低下した。

図-3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。
2 仕入価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。

図-4 従業員状況、生産設備の判断

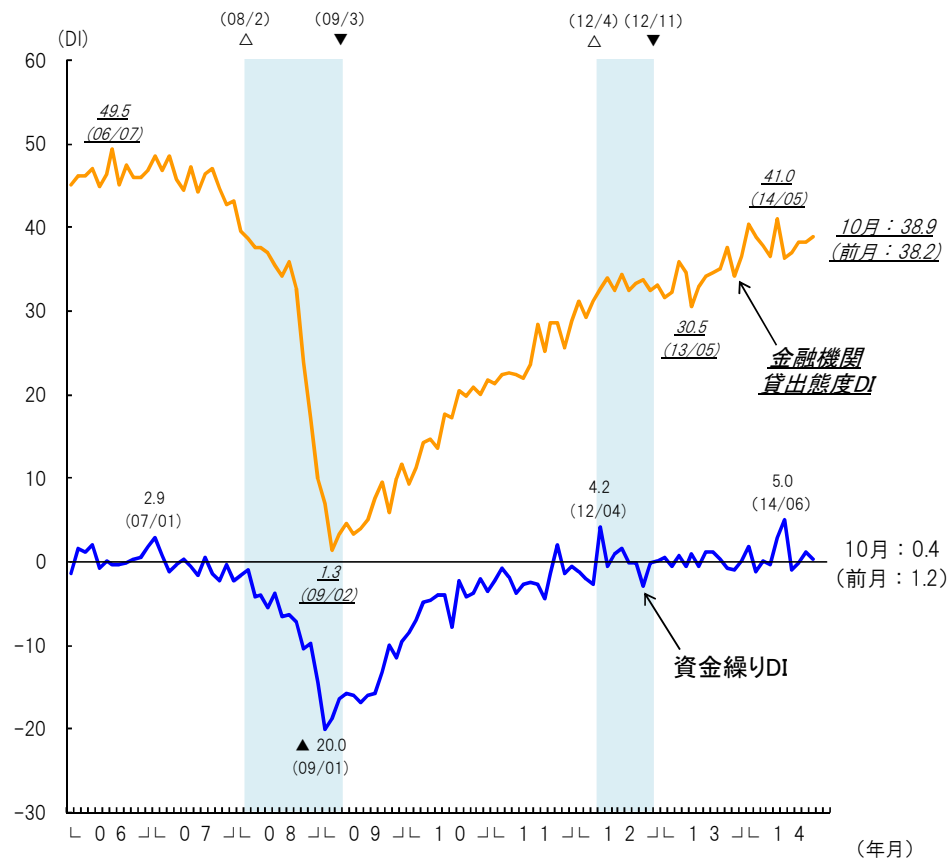


(注) 1 従業員判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。
2 生産設備判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。

○資金繰りDI(「余裕」-「窮屈」)は、0.4と、前月から0.8ポイント低下した。

○貸出態度DI(「緩和」-「厳しい」)は、38.9と、前月から0.7ポイント上昇した。

図-5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



(注) 1 資金繰りDIは「余裕」-「窮屈」企業割合(季節調整値)。

2 貸出態度DIは「緩和」-「厳しい」企業割合。